

必聴!

一般社団法人日本応用地質学会東北支部主催：特別講演のご案内

演題： 3.11 津波遡上流による地表侵蝕

—貞観津波との比較、津波堆積物の実体と減災のヒント—

講師 箕浦 幸治氏 東北大学大学院理学研究科教授（古環境変動学・堆積学）

日時：平成24年5月18日（金） **14：15－15：45**（開場14：00^{（注）}）

津波堆積物の見方・留意点を実物標本で解説（16：00終了予定）

場所：ホテルKKR仙台・蔵王の間（定員130名）

青葉区錦町1-8-17（TEL 022-225-5201）

地下鉄 勾当台公園駅：徒歩7分

対象：一般公開（どなたでも参加できます）

申込不要（直接会場においでください）

*定員超過の場合、立ち見もご容赦ください

参加費：無料（講演要旨つき）

主催：一般社団法人日本応用地質学会東北支部



<http://www.kkr-hotelsendai.gr.jp/access.html>

3.11 津波はなぜ黒かったのか？

3.11 津波は 貞観津波の再来ではない！

箕浦教授は、仙台平野の奥深くまで繰返し津波に襲われてきた地質学的事実を世界で最初に明らかにした研究者としてよく知られ、現在も津波堆積物研究の指導的立場にあります。

教授は、発災直後から一年にわたり津波堆積物を追跡調査し、そのまとまった成果を、今回、初めて講演されます。生々しい現場データを高度な堆積学的知見を踏まえて分析、貞観津波との比較、津波堆積物調査のポイント、さらに津波災害減災の観点からの提言もされます。

同時に、津波堆積物の実物標本、仙台平野の大縮尺3D立体地形図、地盤図なども展示します。

ご講演内容とあわせて、郷土の地質・地形発達史への理解を深めます。

（キーワード： 津波堆積物 侵蝕流・堆積流 津波減災 堆積学 古環境）

●同時展示予定（13：00～ 会場前ロビーにて自由に見られます）

- 津波堆積物の『剥ぎ取り標本』（3.11 と貞観の津波堆積物の実物です）
- 地形解析図（箕浦教授の研究グループの最新の成果！）
- 仙台平野 立体地形図 わずかな高低差を3Dで実感！ 横山空間情報研究所ご提供
- 仙台平野 段彩図＋赤色立体地図（いわゆる内臓 map） 応用地形研究会・千葉達朗氏ご提供
- 宮城県地震地盤図（1985）今なおお色あせない貴重な地盤図

（注）同会場は日本応用地質学会東北支部の支部総会（13：30～14：00 会員限定）の終了後に開場します。

開場時刻が多少遅れることもありますのでご承知おきください。

【問合せ先】一般社団法人 日本応用地質学会東北支部 事務局

電話 022-237-0471

担当幹事 箕浦 幸男（しょうぶ ゆきお）

メール：jseg_tohoku@yahoo.co.jp

HP <http://www.jseg.or.jp/tohoku/>